

ニュース城里

沢山小 生オーケストラを体験



3月6日、沢山小学校体育館で、神奈川フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ公演が開かれました。この事業は文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」の一環。児童は、ほんの数メートル先で、生のオーケストラ団員63人による楽器の紹介、大迫力の演奏を聞き大感激でした。さらに、この公演の特徴は、児童がオーケストラと一緒に演奏や合唱で共演したこと。楽団の指揮者である堀俊介さんと楽団員による直接指導(ワークショップ)も事前に行われ、児童は限られた時間の中、本番に備えて一生懸命練習を積み重ねてきました。まず、低学年が「おもちゃの交響曲」、高学年は「ペルシヤの市場にて」をリコーダーやカステネット、鍵盤ハーモニカでのびのびと演奏しました。また、児童合作の詩にプロの作曲家が作曲した、自分たちだけの合唱曲「新しい世界」をオーケストラの伴奏と一緒に歌いました。

最後に、アンコールとして沢山小の校歌が演奏され、児童は大喜び。アレンジにより違う曲のように聴こえる校歌に驚きながらも、笑顔で歌っていました。児童を代表して本間優一君が「本物のオーケストラの演奏を一緒に演奏・合唱できるなんて思いもしなかった。オーケストラの音に生まれてとても気持ちよかつた。卒業前にとても素晴らしい思い出ができたり、この体験は全員が一生忘れられないものになつたと思う」とお礼を述べました。



3月6日、沢山小学校体育館で、神奈川フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ公演が開かれました。この事業は文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」の一環。児童は、ほんの数メートル先で、生のオーケストラ団員63人による楽器の紹介、大迫力の演奏を聞き大感激でした。さらに、この公演の特徴は、児童がオーケストラと一緒に演奏や合唱で共演したこと。楽団の指揮者である堀俊介さんと楽団員による直接指導(ワークショップ)も事前に行われ、児童は限られた時間の中、本番に備えて一生懸命練習を積み重ねてきました。まず、低学年が「おもちゃの交響曲」、高学年は「ペルシヤの市場にて」をリコーダーやカステネット、鍵盤ハーモニカでのびのびと演奏しました。また、児童合作の詩にプロの作曲家が作曲した、自分たちだけの合唱曲「新しい世界」をオーケストラの伴奏と一緒に歌いました。



写真左から三村さん、和田さん

統計業務の発展に多大な貢献をされた統計労者を表彰する「第47回茨城県統計大会」が2月24日、県民文化センターで開催されました。町からは各省大臣等表彰部門において、農林業センサスの功績により、錫高野の三村榮次さんが農林水産大臣表彰を、また毎月勤労統計調査の功績により、阿波山の和田豊治さんが厚生労働大臣表彰をそれぞれ受賞されました。さらに、秋の叙勲で端宝単光章を受賞された石塚の高安克己さんは、ステージ上の紹介があり大きな拍手が送られました。また、下古内の加倉井昇さんと下赤沢の近澤盛さんには、茨城県統計協会総裁表彰が贈られました。おめでとうございました。

統計調査で大臣表彰 三村榮次さん 和田豊治さん

下水道促進週間コンクール わがまち新聞コンクール 石塚小児童が入賞

「平成17年度茨城県下水道促進週間コンクール」の下水道新聞部門で、石塚小学校の梶紗耶加さんが知事賞準特選、桐原莉星さんが佳作にそれぞれ選ばれ、2月20日、町長室で表彰状の伝達式が行われました。

このコンクールは、県主催により毎年実施。今年度もポスター部門をはじめ6部門において、町内で251点県内では3万件を超える応募がありました。梶さんの「水の旅新聞」、桐原さんの「下水道新聞」は、イラストを使って下水処理のしくみ等がわかりやすく紹介されています。



写真左から森島さん、江幡さん



写真前列左から桐原さんと梶さん

岩船小で防災訓練を実施

2月22日、岩船小学校において防災訓練が実施されました。訓練は、地震が発生し、その後地震を原因として火災が発生したという設定のもと行われました。

参加者は児童以外にも地域の住民や消防団など107名が参加。避難訓練の後、起震車による地震体験や、地域消防団による放水が実施されました。



震度7の揺れを体験



2月26日(日)グリーン桂「うぐいすの里」において、「原木きのこ栽培植菌体験」が開催されました。グリーン・ツーリズム事業(農業体験を通して農村と都市との交流を図るの一環として「原木きのこのオーナー」を募集したところ、町内外から37組の家族連れが参加。当日は、悪天候ではありませんでしたが、大人も子供も収穫の時期を楽しみにしながらの作業となりました。また、昼食時には地元産のきのこを使ったときの汁を振舞いました。次回は6月頃、原本の本伏せ作業を行う予定です。

「原木きのこ栽培植菌体験」が開催されました